

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

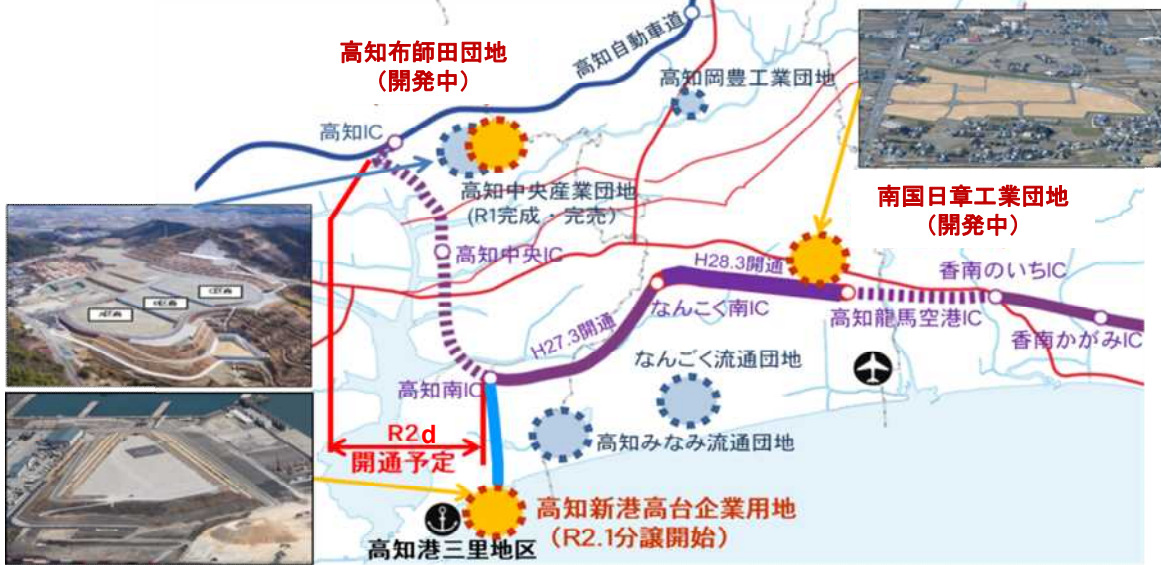
◆高知県内の重要港湾における岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進

[高知港 三里地区]



- ◆静穏度不足により荷役障害やロープが切れる被害が発生⇒南防波堤の延伸を促進
- ◆コンテナ船大型化への対応や岸壁混雑の解消等を図るため、R2年度に港湾計画を改訂予定

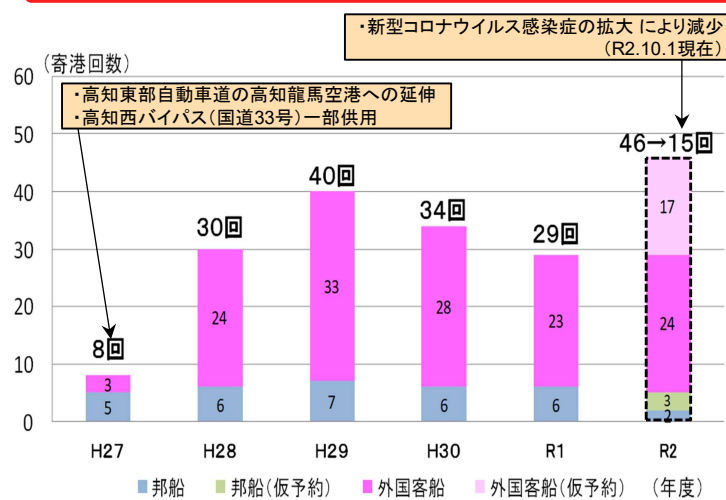
物流機能強化による地域経済活性化



◆港の整備や道路網の充実により物流機能が強化され、港周辺では産業団地の開発が活発

港湾機能強化と誘致活動で、客船寄港の増加

クルーズ船寄港回数の推移(R2.4.2現在)



外国客船の寄港地としての地位を確立し、寄港の増加・定着化を図っていくことが重要

更なる受入環境改善



◆客船ターミナル整備と高速道路網の延伸により、クルーズ船寄港時の滞在時間増加⇒観光地の広域化

[須崎港]



- ◆湾口防波堤がH26.3竣工
- ・津波に対する安全性が格段に向上
- ・静穏度が向上したことにより、企業の生産活動が活発化
- H26以降港湾取扱貨物量(フェリー除く)が四国1位

[宿毛湾港]



政策 ○防災・減災効果を発揮するとともに、既存岸壁等を最大限に活用するためには、防波堤の整備や粘り強い化の推進が必要です。
提言 ○そのための予算の重点配分や、3か年緊急対策後も中長期的視点に立って必要・十分な予算の確保をお願いします。